

まつもと医療センター広報誌

Vol.

60

2025.10



上高地（職員撮影）

◆ 目次

2p すくすく教室を開催しました

3p 「第51回夏まつり松本ぼんぼん」
に参加して

4p 令和7年度第1回職員セミナーについて

5p 令和7年度第1回職員セミナーについて

6p 市民公開講座のご案内

7p 柏原クリニック クリニック紹介

8p お知らせ・編集後記

理念

いのちの尊さを重んじ、質の高いやさしい医療を提供します

基本方針

1. 医学的根拠に基づいた医療を安全に提供します
2. 適切かつ十分な説明を行い、理解と同意を得た医療を提供します
3. 患者さんの思いを大切に、敬意と思いやりの心で接します
4. 地域の医療機関と連携し、地域医療の向上に努めます
5. 教育研修の充実を図り、職員の能力向上と人材育成に努めます
6. 常に前進・研鑽し、臨床研究を通じて医療水準の向上に努めます
7. 明るく健全な病院運営を行います
8. 職員ひとりひとりが誇りを持ち、働きがいのある病院をめざします

患者さんの権利

わたしたちは以下の患者さんの権利を守り、最善の医療を提供するように努めます。

1. 良質かつ適正な医療を平等に受ける権利
2. 自己の病状や予後・治療の手順とその危険性および有益性・代替手段についての十分な情報提供を受ける権利
3. 他の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利
4. 意思に反する場合、情報を知らされない権利
5. 検査の諾否や治療法の選択について、自らが決定する権利
6. いつでも自己の決定を取り消すことができる権利
7. 個人の医療情報に関するプライバシーが守られる権利
8. 健康教育を受ける権利
9. 人格や価値観が尊重され、尊厳を保って生を全うする権利
10. 小児患者さんの生きる権利、守られる権利、育つ権利、参加する権利

すくすく教室を 開催しました



たくさんのスタッフと一緒に、ゲームなどを通して栄養や運動について学びます。

まつもと医療センター小児科では、夏休み期間を利用して2泊3日の日程で、肥満度20%以上の小学3年生～6年生を対象に、栄養指導、運動指導、生活指導による肥満改善を目的に「すくすく教室」を開催しております。小児科医師、看護師、管理栄養士、理学療法士、臨床心理士、保育士、児童指導員と多職種スタッフが連携し、子どもたちが楽しく学べるようプログラムを構成しております。



調理実習を通じて親子で学ぶ時間も設けています。



療育指導室

今年度は7/29～7/31の日程で5名の児童が初対面の仲間と集団生活を送りながら生活習慣に関する事や食事・栄養について学びました。最終日には自宅でも継続可能な運動や親子で一緒に楽しめる運動を講師の先生に教えて頂き、親子でコミュニケーションをとりながら楽しく体を動かしました。すくすく教室での体験、学びが日々の生活改善のきっかけになってくれたら良いと思います。



スポーツなどのレクリエーションもとても盛り上がりました。

「第51回夏まつり松本ぼんぼん」に参加して



副臨床検査技師長 内 田 栄 二

8月2日、第51回松本ぼんぼんが開催され、今年のまつもと医療センター連は総勢65名で参加しました。私も昨年に続き参加させていただき、今年は副連長としての役割を果たしました。

当日は猛暑の中での開催となりましたが、日が暮れ始めると心地良い風が吹き気持ちよく躍ることができました。誰一人体調を崩すことなく最後まで踊りきることができました。また、市民タイムズの1面に私たちの写真も掲載されました。

最後に踊りに参加するにあたり多くの方々のご協力があったことを心より感謝申し上げます。

令和7年度 第1回職員セミナーについて

管理課長 富 永 泰 平

令和7年8月29～30日、“職員セミナー”を開催しました。“職員セミナー”は、まつもと医療センターの職員が職種を問わず参加し、1泊2日で決められたテーマについての理解を深め、絆を深め合う宿泊研修会です。令和5年から始めて今回で4回目となります。

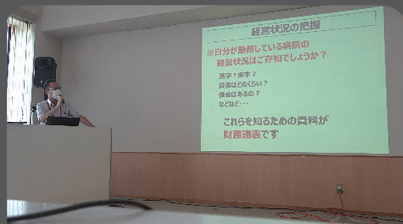
“職員セミナー”では毎回2つのテーマについて学習しますが、そのうちひとつは「病院経営」に固定されています。これは、事務職や幹部だけでなく病院職員全体に病院の経営状況について関心を持ってほしいという意図があります。

今回のもうひとつのテーマは「臨床研究」です。臨床研究とは、“治験”に代表される「医薬品や医療機器を人に使用することにより、その有効性や安全性を明らかにする研究」のことです。実際に人に医薬品を投与したり医療機器を使用したりするため、研究者には確固とした倫理観と科学的手法が求められます。

8月29日の午後、“職員セミナー”参加者21名（職種の内訳は右表をご覧ください）と講師・開催担当者は会場のファインビュー室山（松本市）に集合しました（私は開催担当者としての参加です）。

職 種	人数
医師	4人
看護師	11人
薬剤師	1人
臨床検査技師	1人
診療放射線技師	1人
理学療法士	2人
事務職	1人

オリエンテーションと、緊張を和らげる（同じ病院で働いていても初対面だったり話したことがなかったりすることも多いのです）アイスブレイクの後、井田経企画室長による「病院経営」の講義が始まります。『財務諸表とKPIについて』と題して、「経常収益」や「医業収益」などの基本的な経営指標の意味とKPI（重要業績評価指標）の必要性についてクローズアップした内容でした。



病院経営の講義から研修スタート。



グループワークでは皆で知恵を出し合います！



ファシリテーターもお手伝いします。

講義の後のグループワークでは、学習した知識をさっそく活用して、当院を含む国立病院機構病院の実際の経営実績から経営指標を計算・その特徴を分析して発表しました。普段から経営指標に接している事務職以外にはちょっと難しい内容だったでしょうか。

次は中村特命副院長による『臨床研究入門』の講義です。臨床研究の定義や、臨床研究を行う上で順守しなければならない倫理面でのルールを学習しました。臨床研究には対象者の治療成果はもちろん生命にかかわる研究も含まれるため、研究の各段階における倫理指針の順守やインフォームド・コンセント（対象者への説明と同意）などの手続きの重要性が説明されました。

ここで1日目のカリキュラムは終了、自由時間の後、お待ちかねの夕食を兼ねた交流会です。メニューは信州和牛などの高級そうな食材が並びます。普段の食生活がおおむねコンビニ弁当と冷凍食品で成り立っている私にとっては大変ありがたくも貴重な機会でした（なお食事代は参加者が払います）。

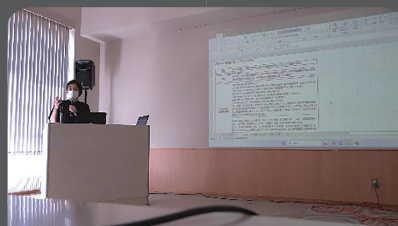
2日目は前日から引き続き『臨床研究入門』です。冒頭に武井院長より研究倫理と個人情報保護についての講義があり、その後に研究計画の作成などの具体的な臨床研究の手順を学びました。

カリキュラムの最後は臨床研究入門のグループワークです。前日からの講義内容を踏まえて、グループごとに「臨床における疑問（CQ=Clinical Question）」を決め、その疑問に対する「対象者（P=Patient）」、「介入／曝露（I/E=Intervention/Exposure）」、「比較（C=Comparison）」、「アウトカム（Outcome）」を想定したうえで、「研究課題（RQ=Research Question）」を設定する…という非常に実践的な内容でしたが、各班ともメンバー同士で知恵を出し合って成果をまとめ、発表することができました。

すべてのカリキュラムを終え、参加者・講師一同で記念写真を撮影。今回も非常に充実した“職員セミナー”とすることができました。



1日目の最後は夕食を兼ねた交流会。



グループワークの発表役は緊張します！



研修の最後は一同で記念撮影！
お疲れさまでした。



市民公開講座の ご案内

「まもろう！
腎臓と血圧 —医師・薬剤師・栄養士が
教える健康のコツ」

11月15日（土）レザンホール中ホールで塩尻市及び塩尻市ヘルスアップ委員会との共催で開催いたします。

今年は「まもろう！腎臓と血圧 —
医師・薬剤師・栄養士が教える健康の
コツ」をテーマに、高血圧と腎疾患に
焦点を当て、腎臓の健康維持に必要な
知識を専門家から分かりやすくお伝え
します。

入場無料・事前申込不要ですので、
お誘いあわせの上、ぜひご参加くださ
い。

共催：まつもと医療センター×塩尻市×塩尻市ヘルスアップ委員会

市民公開講座

令和7年
日時 **11月15日** 土
13時30分～15時30分(13時開場)
会場 **レザンホール 中ホール**
塩尻市大門七番町4-8(塩尻駅東口徒歩7分、駐車場あり)

入場無料
事前申込不要
当日会場まで直接
お越しください

まもろう！腎臓と血圧 ～医師・薬剤師・栄養士が教える健康のコツ～

- プログラム
- まつもと医療センターの紹介 院長 武井 洋一
- 講演1 腎臓と血圧の基本について学ぼう！
腎臓内科医長 降旗 俊一
- 講演2 正しく知ろう！薬のこと
薬剤部 薬剤師 川口 魁士
- 講演3 腎臓にやさしい減塩のコツ
栄養管理科 栄養管理室長 清水 博之

【お問い合わせ先】
塩尻市健康づくり課健康推進係
TEL.0263-52-0854(直通)



柏原クリニック



クリニック紹介

診療科目：外来診療
 （内科、小児科受け入れ対応可）
 所在地：〒399-8304
 長野県安曇野市穂高柏原4565-1
 休診日：木曜午後・土曜午後・日曜・祝日
 お問い合わせ：TEL 0263-82-7222
 FAX 0263-82-7223

<診療時間>

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
8:30～12:00	●	●	●	●	●	●	×
14:00～17:00	●	●	●	×	●	×	×

やまざききょうへい
 山崎恭平先生



東に北アルプス連峰の常念岳と有明山を望み、西に安曇野の田園が広がる風光明媚なクリニックです。前理事長・院長の水上悦子先生が「地域の人に親しまれ、信頼・期待され、それに応える病院を目指す」の理念をもとに昭和57年に開業し、平成26年9月に移転新築しました。令和4年に私、山崎がその遺志を継いで院長となり、地域密着の医療を心がけて診療しております。

入院病床19床、人工透析装置48床のほか、80列CT撮影装置、上部・下部内視鏡、骨密度測定装置、心エコー装置などを完備し、人間ドック、予防接種、学校医、休日当番医などで地域住民の方の健康をサポートしております。

当院は、まつもと医療センター様とは多少距離が離れておりますが、MRI、RI共同利用で連携をさせていただいております。また同グループでご近所の松塩クリニック透析センターとの患者紹介でもお世話になっております。今後ともよろしくお願いいたします。

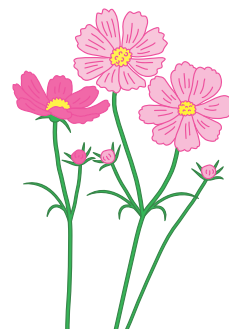
お知らせ



寄附をいただきました

ご寄附ありがとうございます。

徳井 友輔様



SNSやってます。

Instagram



YouTube



いいね・フォローよろしくお願いします。

編集 後記



この編集後記がでる10月は秋。とはいうものの今年の30度を超えるのは9月中旬まで続き、日本の秋が年々短くなっていく様に思えて仕方ありません。どこかで言っていましたが、「秋の蚊」という表現は、昔は夏の暑い時期に活発に活動して、秋の季節には弱々しくなることを示していましたが、最近の異常気象により、豪雨で野に水たまりができて繁殖し、夏の暑さで活動できなかった蚊が、秋になっても気温が高く、適温になり、いまだ活動華やかかなりかもしれません。いまいまい蚊なり。

また、なんと新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ感染も寒気待たずしてはびこり始めています。いつになったら気が休まるやら…と思いつつも、松本の少しほかより朝夕の涼しい秋の夜長を少しでも楽しんでいただければと思います。季節は秋から冬へ。

(M)

まつもと医療センター

第 60 号

令和 7 年10月発行

発行人 院長 武井 洋一

〒399-8701

長野県松本市村井町南2丁目20番30号

TEL.0263-58-4567 FAX.0263-86-3183

<https://matsumoto.hosp.go.jp/>